

#### (4) ワークショップ

##### ①テーマ

「柳川市役所の目指すべき姿は」

##### ②題材

- ・柳川市の現状（人口、財政、公共施設、職員数）
- ・職員アンケート

##### ③方法

- ・3グループに別れ、題材を参考にしながら、テーマについてそれぞれ意見を出し合う。

		所属機関・団体等	氏名	備考
A	1	柳川商工会議所 専務理事	古賀 政文	
	2	特定非営利活動法人とす市民活動ネットワーク 代表理事	鈴木 登美子	
	3	武松優税理士事務所	武松 優	
	4	(株)御花 代表取締役社長	立花 千月香	
B	1	九州大学大学院法学研究院 教授	出水 薫	
	2	元有明新報 総局長	富安 龍介	
	3	コミュニティコミュニケーション・サポートセンター 代表理事	椿原 恵	
	4	(株)コトブキヤ 代表取締役社長	戸田 昇	
C	1	柳川農業協同組合 代表理事専務	新谷 一廣	
	2	(有)ブランドゥ 代表取締役	十時 裕	
	3	元市民レポーター	原田 由美子	
	4	福岡銀行 柳川支店 副支店長	武藤 恵	

- ・話し合いの時間は 分（午前 時 分まで）。
- ・話し合い後、5分程度でそれぞれの意見を分類分けする。
- ・分類分け後、グループごとに5分程度で発表し、情報共有を行う。

##### ④ルール

- ・題材（市の状況や職員アンケート）をもとに、「こんな柳川市役所だったらいいな、楽しそうだな」と思える市の姿をイメージしてください。
- ・否定をせず、色んな意見を受け入れてください。
- ・出てきた意見は全て残してください。
- ・結論を出す必要はありません。

# Aグループ

## 職員として

職員の意見やアイデアが役職に関係なくいいやすい職場

若い職員の意見・アイデアを政策に反映

庁議と経営会議の内容の伝達方法は？

個人目標とそれに対する評価がなされる職場

市民協働の意味を全職員が理解している

行財政改革を知らない職員が多すぎる

部署を越えた交流・コミュニケーションがある職場

地域活動に職員が積極的に参加

自分が市民の立場に立って物事を考えられる職員

職員の意識改革が必要

やりがいを見つけれられる環境がある職場

業務の協力化

人に仕事をつけない  
仕事に人をつける職場

スクラップ&ビルドの徹底

職員が常に市民のニーズ把握に努め、政策に反映する。

仲間意識が強い市役所

上司と部下が思いあう市役所

(大テーマ) 小さな政府

(今は心配ないが) 財政破綻しないように

(方針) 事業はなるべく民間委託  
市役所は管理を中心に

確実なものは直接収益事業 (オンリーワンのもの)

## 市民として

相談に対してたらい回しにしない

職員の地域活動への参加

近接する市役所と比較し、負けない政策を！

職員の笑顔

窓口の担当の人が笑顔がステキな市役所

明るい市役所

職員が元気で笑顔 積極的に声かけ！

あいさつが気持ちいい市役所

小学校の統廃合 100 人以下が 3 校

2045 年には超高齢化が進み、それに対応した

プライバシーが守られた安心して相談できる市役所

# B グループ

